

本屋が町にやってきました！

ふるさとブックオフ OPEN!



▲テープカットを行う(左から)海浦誠さん、平沢町長、ブックオフグループホールディングス堀内社長

全国で三店舗目、県内では初となる「ふるさとブックオフ青森県深浦町風待ち館」が4月25日(土)にオープンしました。オープニングセレモニーには約100人が訪れ、開店を祝いました。セレモニーで当店の運営主体、風待ち館の指定管理者である宗教法人円覚寺副住職の海浦誠さんは「立ち寄りやすい町の本屋のような場所を目指し、心豊かな場所を作っていききたい。本を通じて人と人がつながって地域の力になれば」と挨拶されました。オープン後にはたくさんの方が来店し、本を手に取り購入していました。実際に本を購入した方は、「普段は五所川原市に出



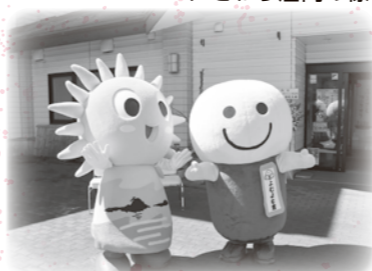
▲にぎわう店内の様子

かけたときに買っているが、ここでお得に買った。身近にあるのでまた来たい」と嬉しそうに話していました。海浦さんは「ここからがスタート。今後はお客さまからリクエストを受け付けたり、小説やマンガなどの購入数に応じて配置を決めたり、よりよい店舗にしていきたい」と抱負を語りました。ふるさとブックオフの営業時間は9時から16時。販売価格は税込110円〜330円。定休日は毎週月曜日となっています。お気軽に訪れ、お好きな本を手にとって購入されてみてはいかがでしょうか。

本を買うってワクワクする！
ロングセラー書籍・コミック・文庫本・絵本など、
親しみやすい中古本を揃えました。



ふるさとブックオフ
supported by book-off



▲ゆうひくんとよむよむくん

白神十二湖山開き(4月15日)

4月としては暖かすぎる陽気の中、観光シーズンの幕開けを告げる「白神十二湖山開き」が4月15日にアオーネ白神十二湖で行われました。

関係者約100人が出席した安全祈願祭では、観光関係者が奉獻神事を行い、世界自然遺産白神山や十二湖・青池を訪れる観光客の安全と無事を祈念しました。その後式典とテープカットが行われ、待望の山開きを祝いました。参加者は、バスで十二湖へ向かい青池周辺を散策しました。

式典の中で平沢町長は「今年度は、外国人観光客向けに十二湖の



魅力を伝えるため多言語標記の案内板を地内に設置し、案内体制の強化に努める。また、9月12日・13日に環境スポーツツイイベント「シートゥサミット白神山」が開催されるので、当町の魅力をより広く発信していきたい」と挨拶しました。この日は数年ぶりの快晴の下での山開きとなったため、キョロロから青池までの散策はとても心地よいものでした。また、太陽が真上に上るタイミングで青池を見ることができ、心が洗われました。

深浦町地域力創造アドバイザー！ 深浦町地域活性化起業人 委嘱状交付式

4月16日、町民文化ホールにて、(株)古川ちいきの総合研究所(大阪市)代表取締役 古川大輔さんへ地域力創造アドバイザー、同研究所社員高田敦紀さん(鶴田町出身)へ地域活性化起業人の委嘱状交付式が行われました。豊富な知見を持つ古川さんが「頭脳」、深浦町に

半常駐する高田さんが「エンジン」となり、町の森林資源を「稼ぐ力」に変える「深浦町トータル林業まちづくり構想」に取り組みます。今後3年間、行政と民間の関係者が一体となり、深浦新時代を切り拓きます。



▲左から高田敦紀さん、古川大輔さん

